

第20回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式  
校長式辞

今、聞いていただいた曲は、スピードというグループの今井絵理子さんが作られた「なんくるないさあ」です。今井さんには、音や声が全く聞こえない小学生のお子様がおられます。そのお子様と一緒に、平成25年7月に本校に来られました。本校で行われた清掃の技能検定を受検する生徒を励ましに来られたのです。歌も歌っていただきました。その時の曲です。「あなたの瞳に映る世界はどんなかな？大きな壁が目の前をふさぐこともあるでしょう。すべてを投げ出さなくて泣くこともあるでしょう。でもこれだけは知ってほしい。うまくは言えないけれどあなたを生んでほんとに良かった。そっとそっと想う。」

平成24年4月10日に本校高等部に入学した卒業生の皆さん、移転・開校を経験し、記念すべき第20回目の卒業生とられました。職業コースの皆さんは、第一期の卒業生です。高等部第3学年89名の皆さん、御卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取る皆さん一人一人の顔は、輝いていました。本校で学んだ3年間、しんどいこともあった、つらいこともあった、でも乗り越えることができました。楽しかったこと、嬉しかったこともたくさんあった。いつも支え、見守っていただいたお父さん、お母さん、家族、友達や先生、施設の方々がおられたからです。多くの方々のお陰で今日の日を迎えることができました。

卒業生の皆さんをお祝いするために、多くの御来賓の皆様をお迎えしました。御来賓の皆様におかれましては、御多用のところ御臨席いただき厚く感謝申し上げます。今後とも引き続き、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。これまで学校教育に対しまして御理解と御協力を賜りましたこと深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。これからも、お子様の御活躍を見守っていきます。

さて、卒業生の皆さん、3年前の入学式で私は「しあわせ」の話をしました。「しあわせ」の「し」は、失敗を怖がらないの「し」。勇気を持ってチャレンジすると心が強くなる。「あ」は、挨拶の「あ」。挨拶は自分や周りの人たちを元気にすることができる。「わ」は、私がやりますの「わ」。何事にも進んで行き、人の役にたつこと。「せ」は先生の「せ」。先生のお話をよく聞いて、一生懸命に勉強すること。と、話をしました。皆さんは、この3年間「しあわせ」に向かって日々取り組んできました。

高等部第1学年。移転・開校して間もない9月の宿泊研修。地元のプリンスホテルに泊まりました。挨拶や食事のマナー研修や職場見学など一生懸命に勉強をしました。10月11日の高等部体育祭。芝生のグラウンドでの初めての体育祭でした。学年種目の「高1オリンピック」。友達と力を合わせて勇気をもってチャレンジしました。高等部第2学年、10月の修学旅行。京都太秦映画村やUSJ。友達と一緒に活動し、友達を思いやることや助け合うことの大切さを学びました。高等部第3学年の文化祭。作業学習で心を込めて作った製品の販売や喫茶店での接客の挨拶で、お客様に喜んでいただくことができました。ステージでの学年合唱では、失敗を怖がらず気持ちを一つにすることができました。東北大震災、広島市大規模土砂災害支援バザーや募金活動など、自分たちができることを進んで考えて実行することができました。人の役に立つ取組は、立派でした。皆さんの努力で「しあわせ」をつかむことができた3年間でした。

私の自慢の卒業生の皆さん。本校を卒業したことに自信と誇りをもって、明るく、元気に、たくましく、これからも「しあわせ」を求めて行かれますことをお祈りし、式辞とします。

平成27年3月10日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行